

県内の保健・福祉・医療・教育・職業の関係機関から、リハビリテーションに関する技術的支援・協力依頼を受け、理学療法士、作業療法士、リハビリテーション工学技師、ソーシャルワーカー、保健師などの専門スタッフが障害のある人や高齢者の自立と社会参加を支援しています。

●専門相談

- ・日常生活動作や生活関連動作、就労に関する相談・支援
- ・家庭や施設における自立や社会参加を促す道具の適合や環境改善に関する相談・支援
- ・既製品では解決できない福祉用具の改造や住宅改修に関する相談・支援
- ・その他、リハビリテーション専門職による技術支援等

■利用方法

相談は、
ソーシャルワーカー
又は作業療法士が
電話でお受け
致します。

■相談日

月曜日～金曜日
8時30分～17時15分

相 談 無 料

〒920-0353 石川県金沢市赤土町二13-1
電話:076-266-2860 FAX:076-266-2864
URL <http://www.pref.ishikawa.jp/kousei/rihabiri/index.html>
e-mail:iprc@pref.ishikawa.lg.jp



●交通のご案内



●バス

- ・金沢駅東口
56西部緑地公園線
- ・金沢駅西口
52示野線
いずれも済生会病院前下車

●車

- ・金沢駅から車で15分



石川県 リハビリテーション センター

地域リハビリテーション活動支援
[教育関係機関用]

障害のある人の自立生活
および社会参加の支援

バリアフリー社会の実現



石 川 県

地域リハビリテーションの推進

障害のある児の持っている能力を引き出し、より生かせる方法を提案することで、地域や学校の中でいきいきと生活し自己実現できることをお手伝いします。

対応例

生活動作への支援

座る動作の指導と、学校いすにクッションなどの工夫を行うことで、食事動作がしやすくなる指導を行います。



給食の姿勢が不安定でした。



学校いすにクッションを設置し姿勢を安定させることができました。

手の発達に応じた用具を利用し、正常な利用の仕方を促し、動作の改善を支援します。



スプーンでの食事の経験が少なく、握り把握で用具を持っている状態でした。



用具を工夫し箸の操作が可能になりました。

福祉用具の支援

一日の学校生活に配慮し、わずかな力で移動と姿勢をかえることができる電動車いすの設計支援を行います。



姿勢の変換と駆動を自分で行える電動車いすを利用し、学校生活を送っています。



足の動きが利用できたので、足で操作するマウスを製作し、パソコン作業の支援を行います。



足で操作するマウスを利用しパソコンでメールを行っています。



施設・住環境への バリアフリー支援

子供の特性に応じた、自立度の高い住宅改修のプランを提案します。



玄関に段差解消機と引き戸を設置したことで、電動車いすで外出が可能になりました。



子供たちの能力を引き出し、自立度の高い学校環境を提案します。



便器の横に高さ調節式のベッドを設置し、介助軽減または自立度の向上を目指した便所です。



便器に排泄姿勢を安定させるクッションとテーブルを設置し利用しやすとした便器です。